

電子体温計 取扱説明書

190601

Mr. Check

型番 MT219-BWC / 品番 07-6112
 型番 MT219-BWCEK / 品番 08-0581
 型番 MT219-BWCEP / 品番 08-0582
 型番 MT219-BWCBKW / 品番 08-0583

この度は当体温計をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書は再発行いたしませんので、紛失しない様に大切に保管しておいてください。

付属品

- 電池(動作確認用): 本体内蔵
- 収納ケース
- 保証書付き取扱説明書(本紙)
- 添付文書

主な特長

- 先端部が曲がり、安全です。
- 測定開始と終了予告をブザーでお知らせします。
- 測定結果が37.8℃以上の場合、通常と違うリズムでお知らせします。
- 正確に測れる実測式です。
- 測定時は、終了予告ブザーが鳴ってからさらに約2～3分間そのまま続けて測定してください。
- 自動的に最後の測定温度を保存します。(前回測定値メモリー機能)
- 電源を切り忘れても約8分±2分後に自動的に電源が切れます。
- 電池交換が可能です。
- 抗菌樹脂製の本体で清潔です。(但し、お手入れは必要です。)

使用上のご注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしております。その表示と内容は次のようになっております。内容をよくご確認の上、本文をお読みください。

- 警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** 人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- 禁止** 禁止(してはいけないこと)を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

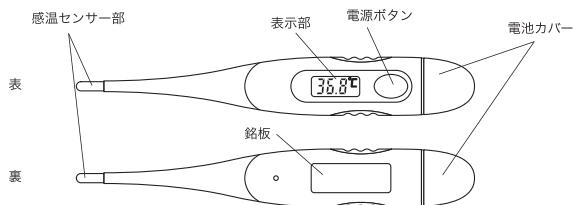
警告

- **お子様**が電池カバー部分をなめたり、いじったりすると危険です。保護者の監視下でご使用ください。お子様の手の届かないところに保管してください。
※電池誤飲事故や感電のおそれがあります。
- **お子様**だけで扱ってほぐさないでください。
※感温センサー部で目を突くなど思わぬ事故のおそれがあります。
- **本体**を強くかじらないうでください。
※破片等の誤飲事故や故障の原因になります。
- **分解、改造、修理**は絶対にしないでください。
※思わぬケガをするおそれがあり、故障の原因になります。

注意

- **当体温計**の電池カバー部分は防水仕様ではありません。電源ボタンや電池カバーからの浸水には十分ご注意ください。(お手入れ時は特に注意してください。)
※故障の原因になります。
- **当体温計**は人の体温測定以外には使用しないでください。
※お風呂に浸けたりしますと故障の原因になります。
- **本体**を曲げたり、落としたりしないようご注意ください。
※故障の原因になります。
- **火気**や熱気のあるそばでは使用しないでください。
※変形や故障の原因になります。

各部の名称



正確な測定のために

- **飲食、運動、入浴**後の30分間は測定をお控えください。
※正確な測定ができません。
- **周囲温度**が40℃を超える場所では使用しないでください。
※正確な測定ができません。
- **測定部位**について
腋下の測定は、医学的には正確な測定が可能とされていますが、外気温や密着の度合いなどによる影響を受けやすいという欠点があります。正確な測定が必要な場合は口腔による測定をお勧めします。口腔と腋下では測定温度の差が0.2～0.5℃あるといわれています。(体温には個人差がありますので、平常時の口腔温と腋下温を知っておくと便利です。) また、条件を一定にするために、いつも同じ部位で測定してください。同じ部位でも、できるだけ温度の高いところで測定が理想的です。
- **最高温度表示の保持**
電源が入っている時に表示されている数字または「Lo」または「Hi」は、電源を入れてから現在までの最高測定温度を示しています。(測定値は下がることが無いよう常に保持されます) 「Lo」は32.0℃未満、「Hi」は42.9℃超を表します。
- **測定終了予告と平衡温**
測定温度の上昇が緩やかになると、体温計は、測定温度が体温に近づいたと判断し、終了予告の合図としてブザーを鳴らし、また、℃表示の点滅を点灯に変えます(※1)。但し、厳密な意味での「体温」は、もうそれ以上完全に上昇しなくなった温度(平衡温)を指します。体温計自体はその後測定を続けていますので、より正確な結果を得るためには、測定終了予告以降も継続して測定されることをお勧めいたします。(推奨測定継続時間: 約2～3分)

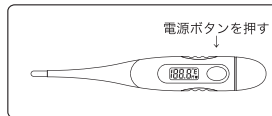
※1 温度上昇0.1℃/32秒以下

正しい使い方

本体表示部説明



(表示部は参考例です。)



本体の電源ボタンを1回押して電源を入れます。



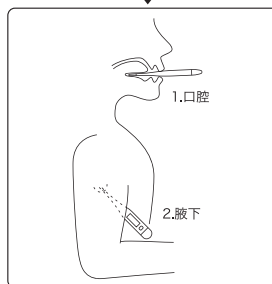
「ピッ」という音とともに、本体表示部に表示文字すべてが表示されます。(約2秒間表示されます。)



次に前回の測定値が表示されます。(右下に「M」が表示され、前回の測定値メモリーであることを表します。約2秒間表示されます。)



本体表示部に現在の周囲温度が表示され、℃が点滅します。(Loは32.0℃未満、Hiは42.9℃超を表します) (この時、「C」と共に「■」マークが同時に点滅した場合は電池が消耗しています。「電池と交換方法」をご参照の上、電池交換をしてから使用してください。) 測定可能な状態になりました。32秒以内に測定部位にそえてください。

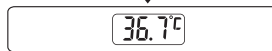


測定方法(口腔か腋下か)を決めて、本体を測定部位にそえます。(「正確な測定のために」をご参照ください)

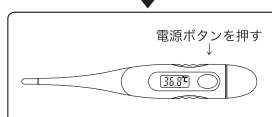
1. **口腔**
体温計の感温部を舌の裏側のつけ根に密着させます。正確に測定するために、口をしっかりと閉じて、体温計を動かさないでおいてください。

○ **乳幼児**には危険ですのでこの方法は絶対におやめください。

2. **腋下**
体温計を斜め下から差し入れるようにして挟み、感温部を腋の下に密着させます。この時、感温部が腋の下中央に来るように位置を調節してください。



測定が終了に近づくると終了予告ブザーが「ピー、ピー、ピー、…」と1秒間に1回のペースで10秒間鳴り、℃表示が点滅から点灯に変わります(※1)。但し、その後も測定状態は続いています。より正確な測定のためには、更に約2～3分程度測定を継続されることをお勧めいたします。また、終了予告ブザーが「ビビビッ、ビビビッ、…」と1秒間に3回のペースで10秒間鳴った場合は、測定結果が37.8℃以上だったことをお知らせしています。



測定が終了しましたら、電源ボタンを押して電源を切ります。また当体温計は、電源を入れた状態で放置した場合でも、約8分±2分後に自動的に電源が切れるように設計されています。

※1 温度上昇0.1℃/32秒以下

お手入れと保管

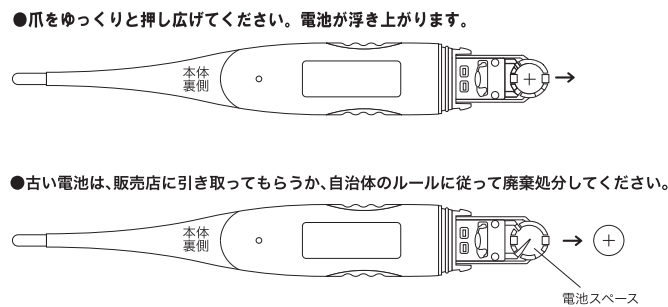
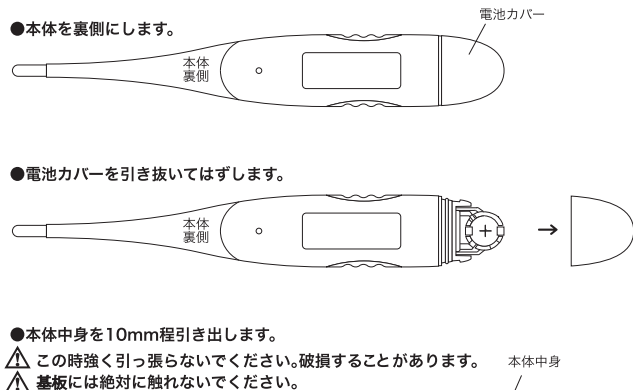
- ご使用後は、柔らかい布や脱脂綿等に消毒用アルコールまたはぬるま湯を浸み込ませ、きつく絞ったもので、感温センサー部を軽く拭いてください。(電池カバー部と本体の間にしみ込ませない様ご注意ください。)
- シンナーやベンジンは使用しないでください。故障の原因になります。
- 保管する際は、本体を乾燥した状態にして、高温の場所、直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、ホコリの多い場所、腐食性ガスの発生する場所を避けてください。
- 長期間保管する場合は、電池を本体から抜いてください。

電池と交換方法

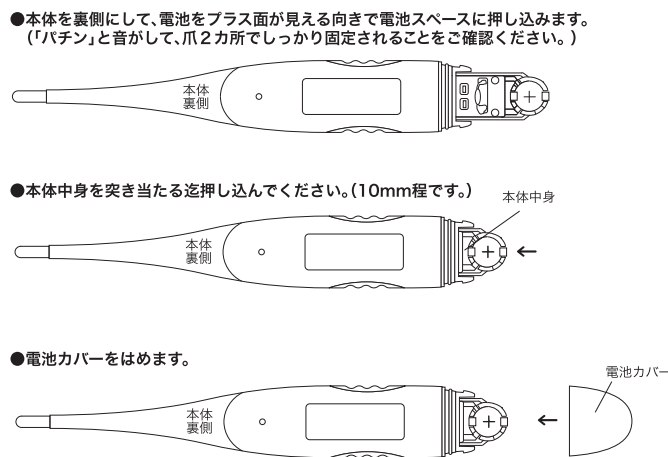
- 本品にはあらかじめ電池が内蔵されています。
- ご購入時に内蔵されている電池は動作確認用のため、寿命が短い場合がございます。
- 新品の電池の寿命は、一日10分使用した場合、約2年です。
- 電池の寿命が近づき電圧が低下すると、測定開始時に表示部右下に「■」マークが点滅表示され、測定できなくなります。
- 寿命と判断された電池はすみやかに新しい電池と交換してください。そのまま放置することはお避けください。液漏れにより故障の原因になります。
- 使用電池はアルカリボタン電池のLR41タイプまたはGP192タイプを1個です。
- 古い電池は、販売店に引き取ってもらうか、自治体のルールに従って廃棄処分してください。

電池交換の方法

電池のはずし方



電池の入れ方



こんな時は

電源が入らない	電池が消耗したか、古い電池と交換してしまったか、電池の⊕⊖の向きを間違えてセットしてしまった可能性があります。「電池と交換方法」をご参照ください。
表示部右下に「■」が表示される	電池が消耗しています。正確な測定ができません。電池を交換してください。「電池と交換方法」をご参照ください。
測定温度が異常に低い	感温センサーと測定部位が十分に密着していなかったか、測定時間が短かった可能性があります。「正確な測定のために」をご参照の上、再度測定してください。
測定温度が異常に高い	感温センサー部が何らかの理由で熱くなっていた可能性があります。感温センサー部を冷やしてから再度測定してください。その際、電源を入れた時に「Lo」が表示される事を確認してから測定を開始してください。
測定温度が一定していない	飲食・運動・入浴直後の測定か、測定部位が一定していないか、測定方法に問題があるか、測定時間が短すぎる可能性があります。「正確な測定のために」をご参照ください。
終了予告ブザーが測定開始後すぐに鳴る	感温センサー部がずれた可能性があります。「正確な測定のために」をご参照の上、再度測定してください。

仕様

販売名	オーム電子体温計 Mr.Check
型番	MT219-BWC, MT219-BWCEK, MT219-BWCEP, MT219-BWCBKW
温度測定範囲	32.0℃～42.9℃ 32.0℃未満で「Lo」マーク表示、42.9℃を超えると「Hi」マーク表示
測定精度	±0.1 (34.0℃～42.0℃の間)、室温18℃～28℃にて測定する場合
温度表示	デジタル液晶表示3桁+℃表示、単位0.1℃
終了予告ブザー	温度上昇が0.1℃/32秒以下になったとき鳴ります
測定値メモリー	最後の測定値を記憶保存しています
電撃保護	内部電源機器B形(JIS T 0601-1の5による)
感温部	サーミスタ
使用電池	アルカリボタン電池GP192またはLR41×1個(DC1.5V)
使用温度条件	10℃～40℃
保管温度と湿度	-20℃～60℃ 30%～95%RH
外形寸法と重量	長さ130.5×幅19.0×厚さ11.0mm 約9.6g(電池含む)
電池寿命	約2年(一日10分使用の場合)

※改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご購入、ご購入等でお保証書に記入のお買い上げ販売店に修理がご依頼にできない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	オーム電子体温計 Mr.Check	★お買い上げ日:	年 月 日
型番	MT219-BWC MT219-BWCEK MT219-BWCEP MT219-BWCBKW	品番	07-6112 08-0501 08-0502 08-0503
保証期間	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)		
お名前	様		
★ご住所	〒 - - 電話 ()		
修理メモ			
★住所 店名 電話	印		

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
 ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
 ●送料無料 ●電話・IP・公衆電話からは
 0120-963-006 048-992-2735
 受付 平日 9:00~17:00
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます